

- 薬学会, 1990, 8, 富山.
- 12) 難波恒雄, 服部征雄, 川田幸雄: LC-MS による生薬成分の分析 (続報) —フリットファブ方式—. 第19回生薬分析討論会, 1990, 9, 神戸.
  - 13) 川田幸雄, 服部征雄, 難波恒雄: LC-MS による和漢薬の腸内細菌代謝物の分析. 第19回北陸質量分析懇話会, 1990, 9, 富山.
  - 14) 難波恒雄: 山野草と和漢薬 (特別講演). 第29回中部臨床衛生検査学会, 1990, 9, 富山.
  - 15) 難波恒雄, 小松かつ子, 岩井正憲: *Codonopsis* 属植物の生薬学的研究 (第1報), 韓国産「蔓参」および「沙参」について. 日本生薬学会第37回年会, 1990, 11, 千葉.
  - 16) 中野政宏, 川田幸雄, 服部征雄, 小橋恭一, 難波恒雄: 腸内細菌による和漢薬成分の代謝 (第23報), —Aristolochic acid の代謝について—. 日本生薬学会第37回年会, 1990, 11, 千葉.
  - 17) 楊 秀偉, 服部征雄, 難波恒雄: *Aegle marmelos* エキスの四塩化炭素による脂質過酸化抑制作用について. 日本生薬学会第37回年会, 1990, 11, 千葉.
  - 18) 藤川卓爾, 田沢賢次, 山本克弥, 竹森 繁, 勝山新弥, 岡本政広, 新井英樹, 笠木徳三, 藤巻雅夫, 服部征雄, 難波恒雄: クシヤラ・ストラによる痔瘻の治療—その剪断能について—. 第45回日本大腸肛門病学会総会, 1990, 11, 東京.
- ◆ その他
- 1) 難波恒雄: 漢方医学の特色と将来. 「Million VIP」ミリオンカードサービス, 43: 11-12, 1990.
  - 2) 難波恒雄: 三度目の大役. 「おくだ」67: 2, 1990.
  - 3) 難波恒雄: 病院薬剤師のための漢方製剤の知識, 厚朴—化学—. 「日本病院薬剤師会雑誌」. 26(2): 62-64, 1990.
  - 4) 難波恒雄: 学問の旅と人生. 「和漢薬」 442: 1-4, 1990.
  - 5) 難波恒雄: 一衣帯水の国. 「日中医学」日中医学協会 4(2): 7-8, 1990.
  - 6) 難波恒雄: 漢方を正式な医学教育の場に引き出そう. 「ザ・漢方—週刊朝日増刊—」朝日新聞社, 1990年4月5日号, 80-81.
  - 7) 難波恒雄: 学問と旅と人生. 「けやき」富山市民大学学友会 9: 8-12, 1990.
  - 8) 難波恒雄: 日本薬用植物誌(46), —グンバイナズナー—. 「和漢薬」 444: 1-2, 1990.
  - 9) 難波恒雄: 日本薬用植物誌 (47), —ワサビー—. 「和漢薬」 445: 7~8, 1990.
  - 10) 難波恒雄: 食事で養われる心と身体. 「ハッピーエンド」ハッピーエンド通信社, 7: 84-89, 1990.
  - 11) 難波恒雄: 日本薬用植物誌(48), —スマイレ—. 「和漢薬」 446: 7-10, 1990.
  - 12) 難波恒雄: 四季菜譚 第一回 薬膳の素材を考える, 夏の蔬菜胡瓜の食効. 「ハッピーエンド」ハッピーエンド通信社, 8: 14-19, 1990.
  - 13) 田沢賢次, 難波恒雄: インドの生命科学アールヴェーダの臨床研究<痔瘻治療におけるクシヤラ・ストラ>. 「学術新報」全国日本学士会, 158: 61-66, 1990.
  - 14) 難波恒雄: 本の紹介. 山田憲太郎著『スパイスの歴史』. 「日本医学史雑誌」日本医学史学会, 1549: 121-123, 1990.
  - 15) 難波恒雄: 四季菜譚 第二回 茄子, 食効と薬効の伝承. 「ハッピーエンド」ハッピーエンド通信社, 9: 42-46, 1990.
  - 16) 難波恒雄: ヒマラヤ山中のチベット病院. 「旧友」富山県教職員旧友会会報, 236: 1427, 1990.
  - 17) 難波恒雄: 四季菜譚 第三回 菠薐, 伝承による食効と欠点. 「ハッピーエンド」ハッピーエンド通信社, 10: 42-46, 1990.
  - 18) 難波恒雄: 四季菜譚 第四回 冬をのりきる栄養源カボチャ (南京). 「ハッピーエンド」ハッピーエンド通信社, 11: 78-82, 1990.
  - 19) 難波恒雄: 医学部に漢方の講座を設けよ, 漢方の教育制度確立が急務. 「最新・漢方がわかる本」週刊読売臨時増刊, 読売新聞社, 1990年12月5日号, 65-66.
  - 20) 難波恒雄: 日本薬用植物誌(49), —スイカー—. 「和漢薬」 451: 4-6, 1990.

## 生 物 試 験

教 授 渡 辺 裕 司  
講 師 松 本 欣 三  
助 手 太 田 浩 之  
技 官 今 村 理 佐

### ◆ 原 著

- 1) Aoki M., Kaneko S., Watanabe H.: Antinociceptive activity of intracisternally and intrathecally administered eptazocine, a novel analgesic, in mice. *Methods & Findings*. 12: 11-15, 1990.
- 2) Kaneko S., Doi E., Watanabe H., and Nomura

- Y.: A long-lasting potentiation of calmoduline-mediated chloride channel activity without a mediation of protein kinase C in *Xenopus* oocytes injected with rat brain mRNA. *Cell Calcium*. **11**: 309-317, 1990.
- 3) Sasaki K., Suda H., Watanabe H., Yagi H.: Involvement of the entopeduncular nucleus and the habenular nucleus and the habenula in methamphetamine-induced inhibition of dopamine neurons in the substantia nigra of the rats. *Brain Res. Bull.* **25**: 121-127, 1990.
  - 4) 羅 璞質, 渡辺裕司, 太田浩之, 松本欣三: ペンゾジアゼピン拮抗薬 Flumazenil の睡眠導入剤 Midazolam に対する拮抗作用. *薬理と治療* **18**: 25-30, 1990.
  - 5) 松本欣三, 蔡 兵, 中村晋也, 渡辺裕司: マウス運動量の測定及び解析のための新しいシステム: 5 種の中枢興奮薬の作用. *日薬理誌* **96**: 31-39, 1990.
  - 6) Matsumoto K., Cai B., Sasaki K., and Watanabe H.: Methamphetamine- and apomorphine-induced changes in spontaneous motor activity using a new system to detect and analyze motor activity in mice. *J. Pharmacol. Methods*. **24**: 111-119, 1990.
  - 7) Watanabe H., Shimizu H., and Matsumoto K.: Acetylcholine release detected by trans-striatal dialysis in freely moving rats correlates with spontaneous motor activity. *Life Sci.* **47**: 829-832, 1990.
  - 8) 渡辺裕司, 松本欣三, 佐藤貴史, 太田浩之, 松田治巳: 四物湯, 葛根湯及び黄連解毒湯の向精神作用に関する実験薬理学的研究, *和漢医薬学会誌* **7**: 99-107, 1990.
- ◆ 総 説
- 1) Watanabe H., Ohta H., and Matsumoto K.: Effect of Ginseng on spontaneous motor activity, water-maze learning and central dopaminergic systems in old rats, In *Recent Advances in Ginseng Studies*, by Shibata S., Ohtsuka Y., and Saito H. (Ed.) 73-81, Hirokawa Publishing Co., Tokyo, 1990.
  - 2) 渡辺裕司: パーキンソン病治療薬, 医薬品の開発, *医薬品の探究 I*, **9**, pp67-76, 広川書店, 東京, 1990.
- ◆ 学会報告
- 1) 松本欣三, 佐藤貴史, 李 紅彬, 太田浩之, 渡辺裕司: 振盪ストレスによる pentobarbital 誘導睡眠の短縮. 第63回日本薬理学会総会, 1990, 3, 東京.
  - 2) 渡辺裕司, 松本欣三, 佐藤貴史: 漢方薬理と中枢神経系: 漢方方剤の中枢作用. 第63回日本薬理学会総会, 1990, 3, 東京.
  - 3) 蔡 兵, 松本欣三, 渡辺裕司: Apomorphine によるマウス自発運動の亢進とそれに及ぼす D1 antagonist, SCH 23390 の影響. 日本薬学会第110年会, 1990, 8, 札幌.
  - 4) Watanabe H., Washizuka M., Shimizu H., Matsumoto K., Ohta H., and Imamura L.: Effect of anesthetics on striatal acetylcholine release studied by brain dialysis in rats. *The XIth International Congress of Pharmacology*, 1990, 7, Amsterdam.
  - 5) Watanabe H., Cai B., and Matsumoto K.: Modulation by dopamine D1 antagonist SCH 23390 of apomorphine-induced motor activity in mice. *Satellite Meeting of the XIth International Congress of Pharmacology (Dopaminergic systems and their regulation)*, 1990, 7, Villa Olmo, Italy.
  - 6) 佐藤貴史, 松本欣三, 太田浩之, 渡辺裕司: 四物湯及びその構成生薬の中枢抑制作用, 第7回和漢医薬学会大会, 1990, 8, 富山.
  - 7) 松本欣三, 蔡 兵, 太田浩之, 渡辺裕司: 長期隔離飼育マウスの攻撃行動に及ぼすデシプラミンの効果. 第41回日本薬理学会北部会, 1990, 10, 福島.
  - 8) 太田浩之, 松本欣三, 渡辺裕司: 加齢ラットにおける記憶・学習行動の低下とそれに対するフィゾスチグミンの効果. 第41回日本薬理学会北部会, 1990, 10, 福島.
  - 9) Takesaki R., 渡辺裕司, 百瀬弥寿徳, 中西穎央, 有澤宗久, 森田直賢: 南米パラグアイ薬草 Nangapiry の降圧作用に関する研究. 日本生薬学会第37回年会, 1990, 11, 千葉.
  - 10) 朝倉 渡, 松本欣三, 渡辺裕司: レム睡眠剥夺マウスの行動に対する中枢作用薬の影響. 日本薬学会北陸支部第82回例会, 1990, 11, 金沢.
  - 11) 松田治巳, 渡辺裕司, 松山幸孝, 寺澤捷年: ドパミン D-1 受容体の反復刺激による 6-OHDA lesioned rat の回転行動の変化, 第14回神経科学学術集会, 1990, 12, 京都.
  - 12) 渡辺裕司: In vivo でのラット線条体 acetylcholine 遊離におよぼす麻酔薬の影響, 第14回神経科学学術集会, 1990, 12, 京都.